

SUNSHINE

第43号 2009年 10月発行
 有限会社 太陽開発
 鹿児島市荒田2丁目43-19 TEL099-255-3623
 E-Mail master91@taiyou1991.com
 URL http://www.taiyou1991.com/

太陽開発

検索

クリック!!



賃貸マンション(オーナー様)をご紹介します!

今回は、鴨池1丁目の「アリーズ鴨池」のオーナー様のご紹介です。牛牧様にまず、マンションの名前の由来をお聞きました!!これがまた、微笑ましいお話で、奥様の産まれ月の星座が、おひつじ座なのだそうです。その英名が「アリーズ」という名前だそうで『妻に、日頃の感謝を意味を込めて付けました』との事でしたo(*^▽^*)o♪この一言で、仲むつまじいご夫婦の様子が、思い浮かびます♪

また、牛牧様は日頃、植物の検査員として、国外から運ばれてくる、すべての植物が病気を持っていないか、害虫がついていないか、一つ一つ検査をするお仕事をされています。現在は、徳島に単身赴任していらっしゃいます。

加工されているもの以外の植物はほとんど、検査をされるそうです。今私たちが、食すものが安全に運ばれてくるのも、牛牧様のようなお仕事をされている方があっての事なのですね。恥ずかしい話ではありますが、このような職種のお仕事がある事を、私自身初めて知りました。健康な体で、日々過ごせるのも、牛牧様、検査員の方々のおかげなのだなあーと思い、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

オーナー様としてマンションを管理される上で、共有部分は日頃からきれいに保とうと心がけていらっしゃるそうです。今後は、マンションやアパートの購入もお考えになっているそうで、お休みの日には、売りに出ている1棟売りのマンションやアパートを見て回っているそうです★

弊社に何度か来店して頂いた事があるのですが、いつも温厚な表情で、人の良さが、表情から伝わってくる、牛牧様です。

アリーズ鴨池



オーナー 牛牧 昭様

1Kタイプ: 洋室7帖、K3

徒歩圏内にバス停・市電乗り場
 スーパーもありますよ～

o(*^▽^*)o♪

～ 野球 ～

来春の選抜甲子園大会のかかる第125回九州地区高校野球大会が24日、宮崎市で開幕した。鹿児島県代表は秋の県大会を制した鹿児島実業高校と準優勝の鹿児島城西高校が出場しています。鹿児島実業の野球部には、昔、近所に住んでいてよく我家へ遊びに来ていたS君が今春入部しました。体は小さいのですが、足が速く運動神経がバツグンです。又、城西高校では、私の高校の同級生の息子さんが主力選手で出場しています。S君が厳しい練習に耐え、精神的にも技術的にも成長して、早く実業高校のレギュラーになれるよう応援しています。

九州大会で勝ち進み実業高校と城西高校の2校が甲子園へ出場すれば、甲子園の試合を観戦するたのしみがふえるものと思います。(この文章を読まれる頃は試合結果が判明していると思います)

私も昔は野球少年でした。鹿屋中学野球部の同級生が、鹿児島市内の高校の野球部に入り、甲子園へ出場したときはたいへんうらやましく思ったものです。

最近、中学の野球部の先輩が来訪されて、当時の野球部の生活をたいへんなつかしく思い出しながら、話をさせていただきました。

サミエル・ウルマンの青春という詩があります。内容の一部をご紹介します。

”年を重ねただけでは人は老いない、理想を失うときに初めて老いが来る”

青春とは人生のある期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ。

高校野球を見ながらいろいろな事を考え、思い出し、これから自分の青春をどのように過ごしていけば良いのか考えているところです。

川越



あぶりや晃房

店長の人柄最高ですよ



弊社がお世話になっている「騎射場」周辺のお店のご紹介第26弾!!



北海道産ホタテ



エビの炙り焼き

今回ご紹介したいお店は、今年の3月にオープンした飲食店あぶりや晃房(こうぼう)です。オーナー様のお名前は小池晃太さん(28)です。お店の名前の由来はオーナーさんの名前の”晃”とお店のという意味の房を入れて晃房だそうです。高校卒業後、東京のパティシエの専門学校に通ったあと、中華、お蕎麦屋、焼き鳥屋、ケーキ屋と多彩なジャンルで腕を磨いたそうです。今の仕入れ先の方とも修行時代に知り合ったそうです。使うほとんどの食材は国産。しかも産地直送だそうです。産地直送なので新鮮でお安くお客様に提供できるみたいです。夜は炙りの焼き鳥、昼はランチもありますので、是非ご来店ください。

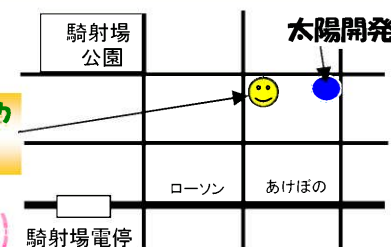
ランチ 12:00～14:30

ディナー 18:00～24:00

荒田2丁目43-16-1F

TEL 099-250-3517 定休日(月曜日)

あぶりや
 晃房



今月の一冊 東京DOLL 石田衣良

其の42



マスター・オブ・ゲーム＝MGと呼ばれる天才ゲームソフト制作者・相良は、新作のモデルに翼の外ウを背負った少女・ヨリを選ぶ。映像モデルとして完璧な「人形」ぶりを発揮するヨリに、MGの孤独は癒されていく。だが、彼女には愛する男の不幸が見えるという異能があった。東京の今を描いた長編恋愛小説。(講談社文庫『東京DOLL』の裏表紙より)

1960年東京生まれ。広告制作会社勤務等を経て、'97年『池袋ウエストゲートパーク』でオール讀物推理小説新人賞を受賞デビュー。'03年『4TEEN』で第129回直木賞を受賞。他に著作『てのひらの迷路』『40 翼ふたたび』『美丘』などがある。

若者に人気の作家シリーズ第2弾は、石田衣良です。石田氏は、最近トーク番組やクイズ番組にも出演なさっているの、ご存知の方も多いかと思います。今回、この企画に為に『うつくしい子供』と『東京DOLL』を読みました。どうせ紹介するのなら、話題作である『池袋ウエストゲートパーク』や、直木賞受賞作品『4TEEN』にすれば良かったのですが、たまたま娘の本棚にあったのがこの2冊でしたので…。『うつくしい子供』も、先月の伊坂幸太郎の『重力ピエロ』も、7月に紹介した湊かなえの『告白』、さらには来月紹介予定の東野圭吾『白夜行』も少年犯罪がテーマになっていて、気が滅入るので今回は『東京DOLL』にしました。しかし、逆に考えると、今若者に人気の作品は、少年犯罪が絡んだものが多いということなのではないでしょうか?

前置きが長くなりました。さて『東京DOLL』ですが、天才ゲームソフト制作者が主人公というあたりは、いかにも今時ですね。ゲームソフトを作るのに、モデルが必要だなんて、私の想像外です。現代の東京の若者達の生き方を上手く切り抜いているな、と感心する反面、設定自体に無理がある感も否めません。しかし、作品全体と通して感じたことは、時代、設定に関係なく恋愛における男女の機微は普遍なんだなあ、という事でした。